



# 絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

## ふるさと河野への思いを発信する・他校の実践に学ぶ ～東浦小学校5・6年生との交流～

11月9日(水)に本校の6年生14名が敦賀市立東浦小・中学校を訪れ、交流会を行いました。東浦小学校の児童数は13名で中学校と併設されており、長年、東浦みかんや地域に伝わる阿曾相撲甚句などの伝統文化を素材としたふるさと学習に力を入れている学校です。また小規模特認校制度（少人数のよさを生かし、きめ細かな指導や特色ある教育活動を行う）を取り入れ、敦賀市内全域から児童・生徒を受け入れている学校でもあります。



本校の発表の一場面

左の写真は本校の発表の様子です。しおかぜ集会で行った内容に河野小学校や河野地区を紹介を加えた発表でした。「河野をにぎやかにしたい」という思いがよく伝わる発表だったと思います。東浦小の校長先生から、「東浦小の児童たちはゆるキャラの河野助のクオリティが高いと驚き、刺激を受けた様子だった」と伺いました。



東浦小5・6年の発表の一場面

次に中学校1年生制作の動画による東浦地区や東浦みかんの紹介がありました。この日はテストと日程が重なっており参加できないということで、動画での参加となりました。さらに東浦小5・6年の児童が考えた「みかんサイダー」を振る舞っていただきました。この日のために何回も試作を重ねたそうです。児童たちはみかんの味を生かした自然な味わいを楽しんでいました。



交流の一場面

その後、東浦小児童によるみかんクイズ、本校児童の企画したこおりおにで楽しいひとときを過ごしました。こおりおには2つ学校が協力して、おににつかまった人を助けるという特別なルールでした。交流会の意義をよく理解していると思いました。

東浦小学校の発表の中に、本校が目標としている「ふるさとへの愛着、誇りを持つ」を実現する上で参考となるものがたくさんありました。交流会での学びを今後のふるさと学習に生かし、さらにレベルアップした情報発信ができるように指導していきたいと考えています。